

東北地方 1 か月予報

(2月27日から3月26日までの天候見通し)

平成22年2月26日
仙台管区气象台発表

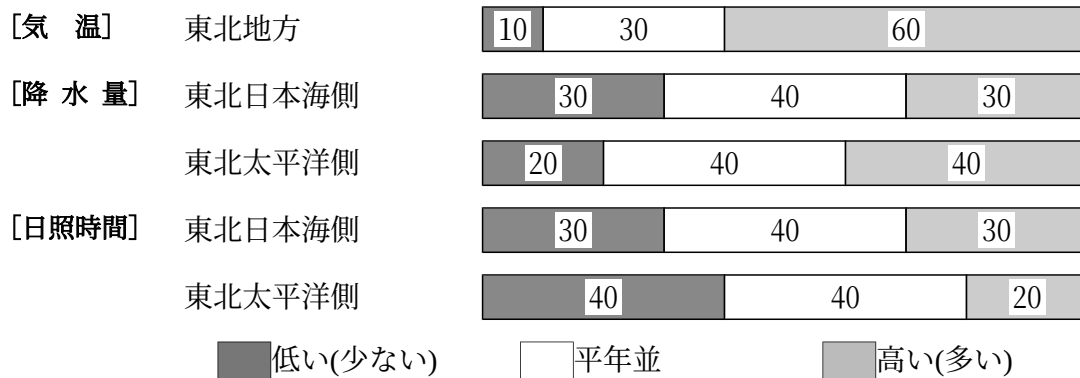
<特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温が高くなる見込みです。積雪の多いところではなだれや融雪による災害に注意してください。

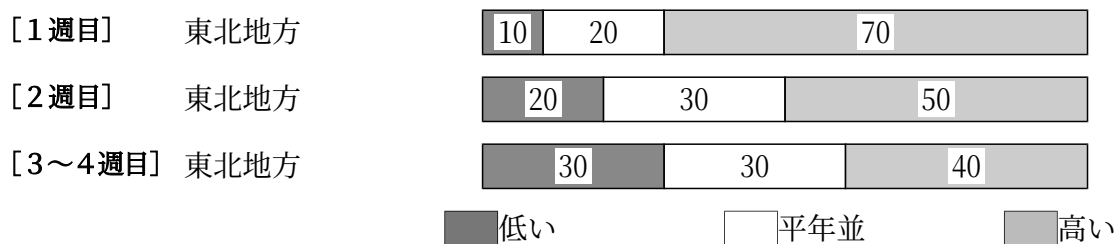
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。
向こう1か月の平均気温は高い確率が60%です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は高い確率が70%、2週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 2月27日(土) ~ 3月26日(金)
1週目 : 2月27日(土) ~ 3月5日(金)
2週目 : 3月6日(土) ~ 3月12日(金)
3~4週目 : 3月13日(土) ~ 3月26日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月5日

3か月予報：3月25日（木） 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	1.5	66.0	121.5	0.2	0.9	2.4
深浦	2.2	70.5	99.6	1.0	1.6	3.0
むつ	0.9	70.6	133.3	-0.3	0.3	1.8
八戸	1.7	46.2	154.2	0.5	1.2	2.7
秋田	2.7	83.8	115.8	1.5	2.1	3.6
盛岡	1.3	69.1	149.7	-0.1	0.7	2.3
大船渡	3.0	77.9	152.4	1.9	2.5	3.8
宮古	2.5	79.0	163.9	1.3	2.0	3.3
仙台	4.0	62.6	164.2	2.9	3.6	4.8
石巻	3.3	59.8	170.3	2.1	2.8	4.1
山形	2.5	60.7	130.4	1.1	2.0	3.5
新庄	1.5	102.1	100.5	0.3	1.0	2.3
酒田	3.8	92.6	107.5	2.6	3.2	4.6
福島	4.4	65.6	160.7	3.1	3.8	5.3
若松	2.4	58.3	124.4	0.9	1.8	3.4
白河	3.1	60.5	164.8	1.7	2.6	4.0
小名浜	5.8	89.6	171.5	4.8	5.4	6.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	83～111	94～107
東北日本海側	-0.4～+0.5	88～107	93～107
東北太平洋側	-0.4～+0.5	79～117	96～106

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.7～+0.7	-0.6～+0.7	-0.3～+0.5
東北日本海側	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6	-0.3～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.7～+0.6	-0.3～+0.6

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 22 年 2 月 26 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 27 日～3 月 26 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。なお、期間の前半を中心に気温の高い状態が続く見込みです。積雪の多いところではなだれや融雪による災害に注意してください。

平均気温は高い確率が 60% です。

1 週目 (2 月 27 日～3 月 5 日) :

気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日が多いですが、期間のはじめは晴れるところもあるでしょう。

平均気温は高い確率が 70% です。

2 週目 (3 月 6 日～3 月 12 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が 50% です。

3～4 週目 (3 月 13 日～3 月 26 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。

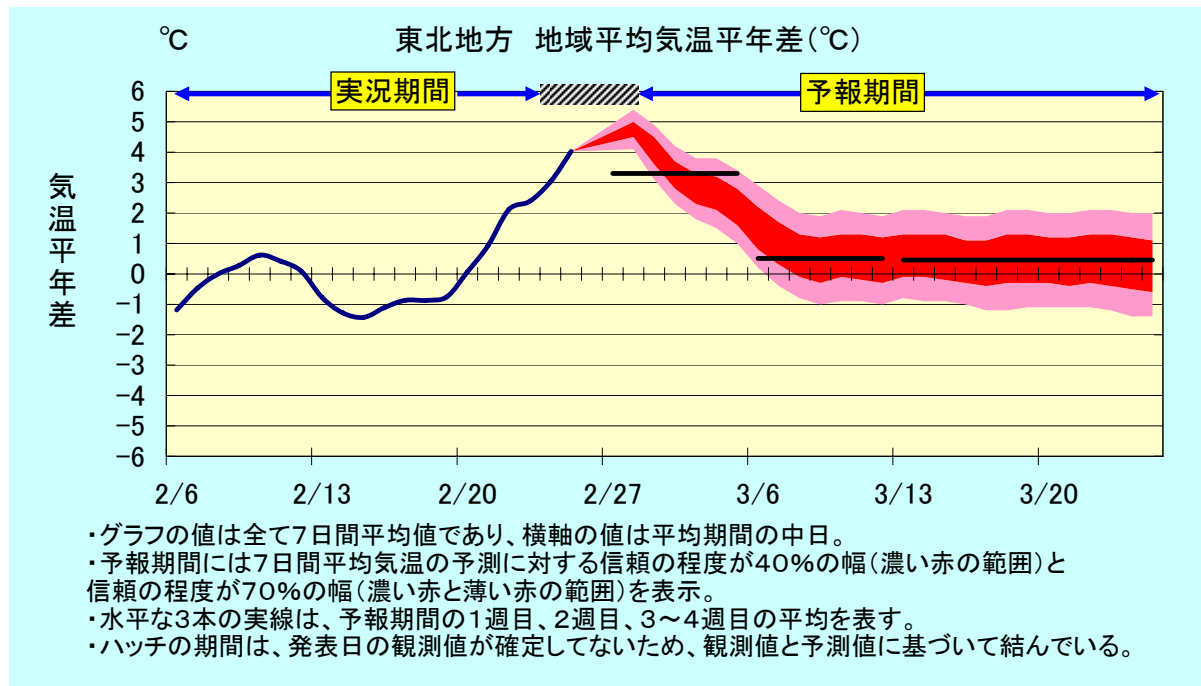
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.5 日	2.4 日	2.7 日	6.4 日
東北太平洋側	18.1 日	4.4 日	4.5 日	9.2 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目は平年を大きく上回り、2 週目、3～4 週目は平年を上回る予想となっている。

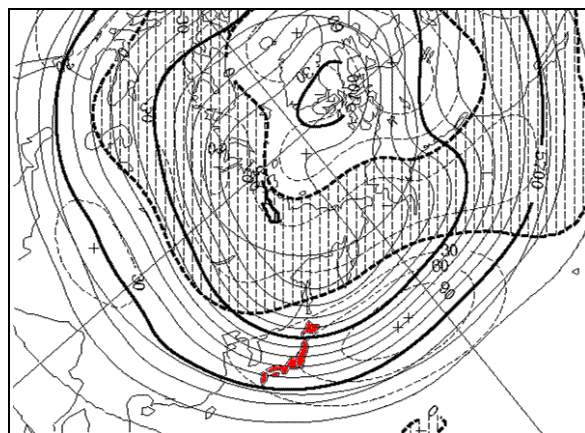


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

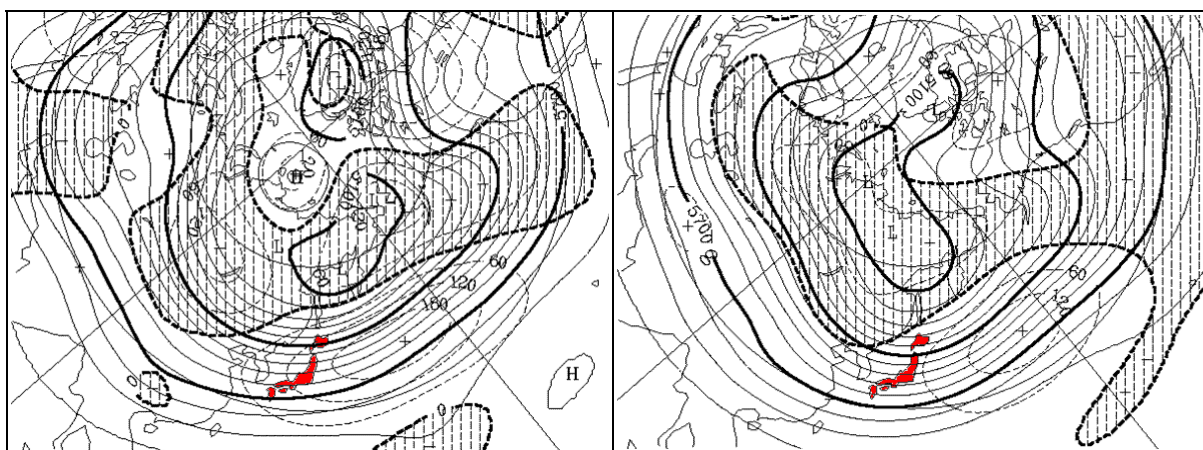
1か月平均: 日本付近は、日本のはるか東に中心をもつ正偏差に広くおおわれる。高温が予想される。

1週目: 日本付近は、日本のはるか東に中心をもつ正偏差におおわれる。850hPa 気温予想図(図略)でも東北地方は顕著な正偏差となっており、高温が予想される。

2週目: 日本のはるか東に中心をもつ正偏差は弱まり、シベリアの負偏差がサハリンから沿海州付近までひろがる。一時寒気の影響を受けるおそれもあるが、暖気の流れ込みやすい流れとなっており、高温が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

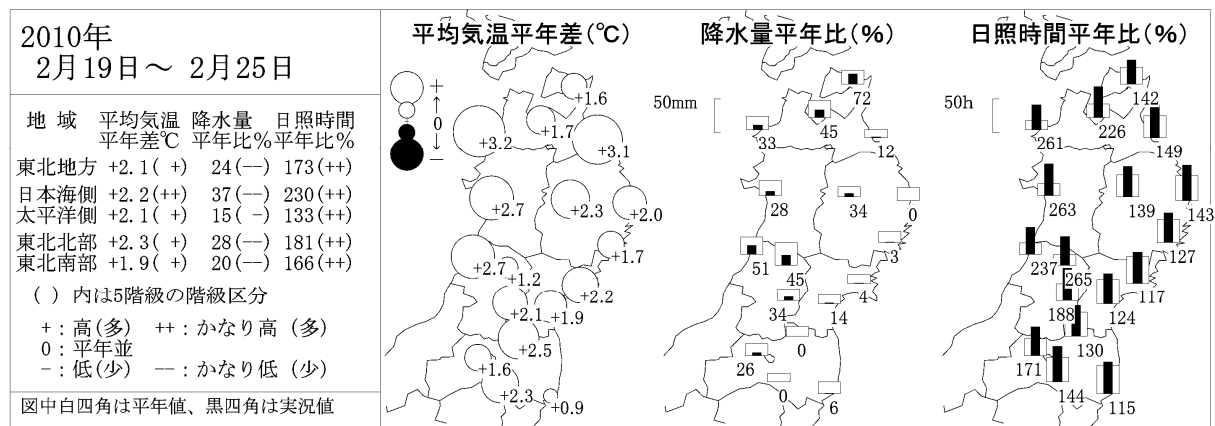
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（2月19日～2月25日）の天候の経過

この期間、はじめは冬型の気圧配置となり東北日本海側では曇りや雪、東北太平洋側では晴れるところが多かった。その後は高気圧におおわれて東北地方全域で晴れる日が多かった。期間の前半は寒気の影響で気温の低い日もあったが、後半は南から暖気におおわれて高温となった。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）